



# 八坂小通信

平成25年 4月 8日  
第620号  
練馬区立八坂小学校  
校長 稲葉 孝之

## みんなで育てる 子供の笑顔がかがやく学校

校長 稲葉 孝之

春の陽と若葉のすがすがしさがあふれる八坂小の平成25年度が、今日スタートしました。

私は、4月1日付で本校の校長に着任しました、稲葉孝之（いなば たかゆき）と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

お子様のご入学、ご進学おめでとうございます。新しい学年を迎え、新しい仲間と出会います。子供たちは、これからの1年に大きな期待と希望を抱いていることでしょう。私も八坂小学校での新しい出会いに胸がわくわくしています。

私にとって八坂小学校でのこれからの出会いは、自分の学校経営の大きなエネルギーになるとともに、自分自身も持っている力を発揮するよいきっかけになると考えています。子供たち、保護者の皆様、地域の皆様、教職員との出会いそのものを楽しみにし、その出会いをきっかけにしてどう変わっていかれるかを楽しみにしています。



平成25年度は、新1年生78名を迎え、全校児童461名、15学級での出発です。

本校は、教育目標を

よく考える子  
心ゆたかな子  
たくましい子

として、たくさんの取り組みをしております。

さらに今年度は、「笑顔がかがやく八坂の子」「みんなで育てる八坂の子」を合言葉にして、充実した教育活動を行っていただけるように教職員一同努力をしております。

教育活動を進めるにあたり、次の3つを意識していきたいと思ひます。

教育の基盤は、信頼に支えられた人間関係。教師と子供の双方向に信頼が存在するとき、信頼関係が成立するといわれます。この双方向の信頼の中で、学習が促進されると考えています。そのためには、まず教師と子供が互いに認め合うことから始めていきたいと思ひます。

学習指導の基本は、学習者の学習意欲。算数の問題を解決するとき、提示された問題に対して解決意欲があるかないかでは、その解決姿勢に差が出てきます。子供が問題を解決するとき、もってやってみたいと思ふ学習指導を行うことが大切だと思ひます。

教育の評価は、長いスパンでの変容。子供の行動を一つの場面だけで評価することは、決め付けにつながり危険です。学校では、子供のよさを多面的に評価するために、様々な場面で、長い時間をかけて評価していきたいと考えています。

今年度も保護者の皆様、地域の皆様のお力をぜひお借りしたいと思ひます。八坂小学校が、一歩前進できるように、ご理解とご協力をお願いいたします。

